

SUPER DREAM LAKE CONCERT 2020

2020年11月14日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00



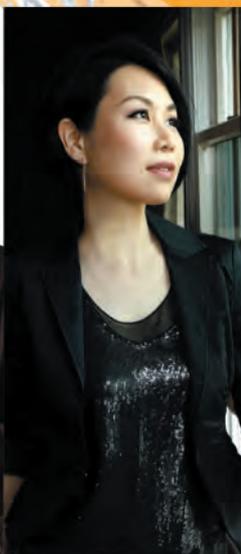
佐藤 竹善



中西 圭三



TOKU



宮本 貴奈



池田 聡
ジミー岩崎(p/f)



鈴木 トオル
齋藤 昇(sax)

pia.jp/t



0570-02-9999

チケットぴあにて

前売りチケット販売中!

TEL:0570-02-9999 Pコード:187742

ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール

全席指定 10,000円 (限定180席)

主催/千波湖コンサート実行委員会 お問い合わせ・各種情報/Girl talk TEL:029-225-0050(18:30~)

※新型コロナウイルス感染予防対策として、ご来場の際は、消毒へのご協力とマスクの着用をお願いいたします。

当日、体調の悪い方や発熱されている方は、入場をお断りさせていただきます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

Girl talk

www.girltalk.co.jp

タイムスケジュール

13:30	14:00出演	14:50出演	15:50出演
開場	鈴木 トオル 齋藤 昇(sax)	池田 聡 ジミー岩崎(p/f)	佐藤 竹善 中西 圭三 TOKU 宮本 貴奈

※当初予定時刻より遅れが生じる場合がございます

アーティスト プロフィール

池田 聡

1986年8月、日本大学理工学部在学中に「モノクローム・ヴィーナス」でデビュー、いきなり50万枚のヒットとなる。都会的なポップさを持ちながらシンプル且つ深い表現力。澄んだ水が染み渡るようでありながら、胸の奥を刺すような痛みも存在する歌の世界観を持つ。

音楽活動、芝居、執筆、企画の立案等、多様な活動を積極的に行っている。
代表曲
「モノクローム・ヴィーナス」 「月の舟」
「j. e. a. l. o. u. s. y」
「濡れた髪のLonely」 ★レコード大賞ノミネート作品★
「思い出さない夜はないだろう」 「マリッジ」など。

ジミー岩崎(p/f)：サポート



鈴木 トオル

1985年、LOOKのリード・シンガーとしてデビュー曲『シャイニン・オン〜君が哀しい〜』が大ヒットとなる。LOOK脱退後もソロ・シンガーとして身近に感じる「愛」をテーマにした多くの作品を世に送り出している。ノエビア化粧品や欧州車アウディなどのコマーシャルでも洋邦の代表曲をカバーした楽曲が使用され好評を得た。一方、『Love in City 〜』と題したライブは今年年間に130本を超える程に浸透し、同タイトルのライブで現在も全国を巡る旅を続けている。そんなライブを重ねてながらファンの声やリクエストにも応えたアルバム制作も意欲的に行い、ニューアルバム「RECORD」が絶賛発売中。

齋藤 昇(sax)：サポート

佐藤 竹善

SING LIKE TALKING のボーカルとして'88年にデビュー。'93年『Encounter』、'94年『Togetherness』の両アルバムはオリコン初登場1位。現在まで14枚のオリジナル・アルバムを発表、総売上300万枚以上を記録している。その他、多数のアーティストのレコーディング参加、楽曲提供やプロデュースなども行い、高い評価を受けている。

デビュー30周年記念ベストアルバム「3rd reunion」を2018年8月にリリース。
恒例となっているクリスマスライブ、佐藤竹善 with The Jazz Creatures「Your Christmas Night 2018」は、過去最大となる全10公演が行われた。
デビュー30周年以降もますます活発な活動を続けている。



中西 圭三

91年デビュー。この年ダンスユニットZOOに提供したシングル「Choo Choo Train」(03年にはEXILEにより再びヒット)はミリオンヒット。90年代のポップダンスシーンを牽引する代表曲となり、第13回JAM広告音楽大競技会作曲賞を受賞。翌92年自らの楽曲「Woman」もヒット。この年同曲で日本レコード大賞作曲賞を受賞、並びに第31回紅白歌合戦へ出場。続くアルバム「STEPS」「STARTING OVER」はオリコンチャートNO.1に輝く。最近ではNHK「おかあさんといっしょ」の体操曲「ばわわ体操」の歌唱。月の歌として好評を博した「ばよよん行進曲」や「まんまるスマイル」「あさべら!」の制作など活動の幅も広がっている。
2020年秋、自主レーベル『TAO LIFE RECORDS』を設立、その第一弾シングルとして『流れ星』がリリースされた。

TOKU

日本唯一のヴォーカリスト&フルーゲルホーンプレイヤー。父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にブラズバンドで初めての楽器フルーゲルホーンを手にする。2000年アルバム「Everything She Said」でSMEよりデビュー。デビュー当初からヴォーカル&フルーゲルホーンプレイヤーとしての音楽スタイルや音楽センスが注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。一躍日本のジャズトップシーンの仲間入りを果たす。
2019年2月、オリジナル曲を集ったベストCD「Original Songbook」を発売し、2020年自身が熱望していたフランスレコーディングを行いCD「TOKU in Paris」をフランス先行、国内は5月発売で国内外と活動の場を広げて行く。



宮本 貴奈

ピアニスト・作曲家。茨城県結城市出身。幼少からエレクトーン、中学からピアノと作曲を学び、米パークリー音楽大学の映画音楽&ジャズ作曲学科、ジョージア州立大学院ジャズ教育学卒。米英に19年在住、約30カ国で演奏活動。八神純子、佐藤竹善、TOKU、大黒摩季、ケイコ・リー、サラ・オレイン、伊藤君子など、ボーカリスト達のサポートやプロデュース、その他、日野皓正、西本智実、溝口肇、Sugizo等、ジャンルを超えて幅広く共演・レコーディング。
今井美樹、岩崎宏美、杏里、河村隆一、May J.、タケカワユキヒデ他、ポップスアーティスト達のオーケストラアレンジも幅広く手がける。
国立音大ジャズ科講師、結城袖大使。2020年11月発表予定のニューアルバムには、初の弾き語りも収録。